

今週のセルグループ(赤字)		7月5日(日)~7月11日(土)	
セル(リーダー)	次回の日時	場所	前回の証しなど
リバイバル 北山姉	毎日曜日 礼拝後	LINE 電話	6/28 3名 自分の常識が主の働きの妨げとなっている。
グレイス 鈴木千姉	7/10(金) 午後8:30	鈴木宅	6/26 4名 人の話を聞いてあげなさい、と言われていたと思う。特に家族の話聞いてあげたい。
Gospel 鈴木尚姉	7/11(土) 午後1:00	鈴木尚宅	6/28 3名 生活の中の自分の常識よ、あっちへ行け!と捨てる。
オイコス 磯貝姉		LINEで 分かち合い	6/28 9名 見返りを求めてしまう自分を捨て与える者へ変えられ生きたいと思われました。
からし種 磯貝姉		LINEで 分かち合い	6/28 3名 見返りを求めている。笑顔、話を聞く、寄り添う。祈りが必要と語られました。
ユース 岩下兄	7/17(金) 午後7:00	LINE 電話	
Rock 鈴木洋兄		鈴木宅	6/17 3名 「私は、主に愛されている。」そのことが本当によく分かり、感謝と喜びで胸一杯になった。
シャローム 平岩姉	7/11(土) 午前10:00	平岩宅	6/27 3名 喜んで仕事をする、飽くことなく愛を示すこと。
なつめやし 高橋智姉	7/5(日) 礼拝後	高橋宅	6/21 5名 高価で尊い、できるできないの基準ではない。世の基準で測っていた。
リジョイス 杉本姉	7/7(火) 午前10:15	穂苅紀宅	6/25 2名 自分の都合によらず、主がせよと言われたら、時間を擱けて喜んで仕えていきたい。
ジョイフル 穂苅兄	7/16(木) 午後9:00	Zoomで 分かち合い	6/16 5名 ぬかに包まれたきゅうりのように味が変わるように、通読と祈りの時間を確実にとるように。
アガベ 長塚姉	7/12(日) 礼拝後	コミュニティ センター	6/28 4名 <b>セルリーダーのためにお祈りください。</b>
サクセス 鈴木勝兄	7/12(日) 礼拝後	デラドロー 名駅	6/28 8名 時間の無駄だから話をしたくないと「見返りを求めていた」ことに気付かされた。
リーダーズ セル	7/8(水) 午後7:00	Zoomで 分かち合い	
セル研修	休講		
羊・ビジョン 平岩恵兄・栗永兄	毎日曜日 午後1:00	コメダ	6/28 5名 お互いのためにお祈りする時間を持ちました。
worship 長塚寛兄	中止		
中学生 梅田姉	中止		
キッズ2 小山姉	中止		
キッズ1 芳井姉	中止		
Shine 小原姉	7/11(土) 午後6:30	エステル	
ギデオン 芳井兄	お休み		
カルバリ 野田兄	7/7(火) 午前11:30	交わり	6/16 6名 遅刻をやめたいと思う自分とまた遅刻をしてしまう自分。主にすがりたい思い。
神の家族 伊岐見真姉	7/12(日) 午後7:30	LINE 電話	6/28 2名 誰でも受け入れたい、笑顔で迎えたいと思いました。

礼拝奉仕		聖日礼拝		祈祷会		
		司会	奏楽		奏楽	
今週	7/5 (日)			鈴木尚姉	7/9 (木)	大高愛姉
		開始時間 午前10時				
来週	7/12 (日)			鈴木千姉	7/16 (木)	鈴木尚姉
		開始時間 午前10時				

※ 7/7(火)のバイブルスタディは休講になります。

※ 杉本久子姉妹が召天されました。残されたご家族の平安のためにお祈り下さい。

### 祈りの課題

- ・人々の救いを覚えて
  - ▶ 家族知人をキリストへ
  - ▶ 教会近隣の人々の救い
  - ▶ 東海地方の救いのために
  - ▶ 日本の救いのために
  - ▶ 世界の救いのために
- ・働きを覚えて
  - ▶ バイブルスタディの働き
  - ▶ リバイバルクワイヤーの働き
  - ▶ リバイバルママズの働き
  - ▶ 那古野アウトリーチの働き
  - ▶ 祈祷会の祝福
  - ▶ 日曜礼拝の祝福
  - ▶ 牧師の働き
- ・ギデオン協会の働きのために
- ・セルグループの祝福
  - ▶ LIG人生変革グループの祝福
- ・プレーヤーハウス獲得のために

聖日礼拝 (日曜) (第一) 午前 9:00~10:30  
(第二) 午前11:00~12:30

キッズセル(子供礼拝) (日曜) 午前 9:00~10:30

日曜礼拝バイブルスタディ (日曜) 午前11:00~12:30  
☆第一礼拝に出席してから、ご参加下さい。

バイブルスタディ (第1、第3火曜) (昼) 午後 1:00~ 2:30  
(夜) 午後 7:00~ 8:30

祈祷会 (木曜) 午後 7:00~ 8:30

特別早天祈祷 (土曜) 午前 6:00~ 7:00



## 主の御手 週報 NO.1302

2020年7月5日(日)発行 7月第1週

私たちのビジョン [宣教] 主の御手が彼らとともにあったので、  
(使徒の働き11:21) 大ぜいの人が信じて主に立ち返った。

### 日曜礼拝

開始10時

- ・讚美
- ・祈り (祈りの姿勢をおとり下さい。)
- ・メッセージ
- ・祈り
- ・神への感謝 (集会感謝の献金があります。ご意志で自由にどうぞ。)
- ・主の祈り (初めての方はスクリーンをご覧になってどうぞ。)
- ・連絡

#### お願い

- (1) 礼拝後は、必ずコイノニアルームなど、室内にお入りください。道路上にとどまることがないようにお願いします。
- (2) また、必ず一度は、コイノニアルームに立ち寄りようお願いします。重要なお知らせなどがあります。

今年のテーマ [感謝] すべてのことにおいて感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたに望んでおられることです。(テサロニケ人への手紙 第一5章18節)

## 日曜日は教会へ





「マルコ13：31  
天地は消え去ります。しかし、わたしのことばは決して消え去ることがありません。」

## 長い歴史に幕

先日、NTTのハローページが、2021年10月以降に発行される最終版をもって終了するという発表がありました。130年の長い歴史に幕を閉じることとなりました。個人宅の電話番号が掲載されている電話帳ですが、昔はどの家庭でも電話機のそばに必ず置いてあったのではないかと思います。私の家にも、昔はハローページと企業用のタウンページが置いてありました。友人の自宅へ電話をする時に調べたりしましたが、「とても分厚くて重たい」そんなイメージがありました。近年、携帯電話の普及や、個人情報保護の意識が高まる中、発行部数は年々減少傾向にあったようです。

電話帳の始まりは、1890年の明治時代にまでさかのぼります。最初は、一枚の紙に230件ほどの個人や企業の連絡先が掲載されていただけのものでした。それが、ピークの1990年代には6500万件までになりましたが、昨年は120万件と、大きく減少していました。30年前と今とでは、明らかに人の通信手段は大きく変わ

りました。最近では、電話帳を目にする機会がほとんど無くなってしまいましたが、電話帳だけではなく、固定電話や、公衆電話の数も毎年減少しています。様々なものがデジタル化にシフトしていく中で、その役割を終えるサービスもたくさん出てきています。

地元名古屋の老舗デパート「丸栄」も、二年前に営業を終了しました。その歴史は、前身の呉服屋時代を含めると403年にもなるそうです。400年前ですと江戸時代の創業ということになります。かつては、西日本最大の売り場面積を誇り、名古屋にある、松坂屋、三越、名鉄百貨店の大手百貨店と並んで、「4M」と呼ばれていました。現在、大型のショッピングモールや商業施設がいたるところでオープンし、ネット通販による買い物が増え、さらには高齢化が進み、あらゆる時代の変化によって、デパートの業界も衰退しつつあるのではないかと思います。

また、現在、コロナウイルスの関連による倒産も相次いでいます。100年以上も続いた老舗のレストラン、旅館などの倒産が相次いでいます。今までは当たり前のように身近に存在していたものが、時代の変化に伴って衰退していき、その終わりの時を迎えることとなっています。

## 人間のいのちも限りがある

そしてまた、私たちのいのちも限りあるもので、いつかその終わりの時を迎えることとなります。造り主なる神は、「人の齢は百二十年にしよう。（創世記6：3）」と定められました。現在、日本人の平均寿命は男性が81歳、女性が87歳だそうです。聖書には、「私たちは自分の齢を一息のように終わらせます。私たちの齢は七十年。健やかであっても八十年。（詩篇90：9-10）」と

ありますように、70年、80年という時間は、地球の約6千年という歴史からすれば、ほんの一瞬に過ぎないものであります。

人の魂（たましい）は、神の御前にあって同じ一つの魂です。過去に偉大な発明、人類の歴史を変え、社会に大きな影響を与えてきた名だたる偉人と呼ばれる人であっても、大きな事件を起こし、社会に強烈なイメージを与えた凶悪犯であっても、どんな人であっても死は同じように訪れ、その魂は主の御前にあってみな同じであり、大きいとか小さいといったことは全くありません。人の魂は、主のご支配の下にあり、人間がそれをコントロールすることはできません。明日必ず生きているという保証はありません。すべて神様の手に委ねられているのです。

## 聖書は今もなお、人々に影響を与え続けている

神のことばである聖書は、あらゆる時代のあらゆる人々に対して影響を与え続けています。世界中で毎日のように数えきれないほどの本が出版されていますが、聖書は中でも、毎年、世界のベストセラーとなっており、現在、2500以上もの言語に翻訳されています。科学者、音楽家、医者、経営者、大統領、政治家などの著名人のみならず、あらゆる時代の、様々な立場の人々の人生に大きな影響を与えています。

アポロ15号で月面着陸した宇宙飛行士は、「宇宙は神が造られたとしか考えられない」と言っています。また、アメリカ合衆国初代大統領のジョージ・ワシントンは、「神と聖書なしに、この世を正しく統治することは不可能である」とも言っています。他にも、日本銀行の総裁を務めたことのある速水優さんは、「私は『主共にいます』『主われを愛す』『主すべてを知りたもう』という三つのことを心の中に入れて出て行けば、人を恐れなくて、

相手の顔を見て言うことができることを何回も体験しました。」と言っています。クロネコヤマトでおなじみ、ヤマト運輸の創業者である小倉昌男さんは、「経営というのは、自分が人にしてもらいたいと思うことを相手にもしてあげること。自分がやられたら嫌なことは相手にもしない。この二つに行き着く。僕はそうやって経営をやってきた」と言っています。

昔から、あらゆる時代の人々が聞いて影響を受けてきた聖書のことばが、今日の私たちにも変わることなく届けられています。そして神のことばは、これからはずっと変わることなく人々に影響を与え続けていくことだと思います。

## みことばに毎日触れる

ですから私たちは、毎日みことばに触れる生活をしていきたいと思えます。聖書を読むことによってみことばに触れ、生活の中で主から語られることによって、みことばに触れることができます。みことばに毎日触れ続けていることで、私たちは変えられていきます。

「信仰は聞くことから始まります。聞くことは、キリストについてのことばを通して実現するのです。（ローマ10：17）」とありますように、みことばをまず聞くことが、私たちの信仰の土台となります。どんな人の励ましの言葉や、今日あった嬉しい出来事も、ほんの一瞬のうちにして、過ぎ去ってしまいます。しかし、みことばは、ずっと私たちの心に語りかけられていて、それは決して消え去ることはありません。

「私はあなたのみことばを心に蓄えます。（詩篇119：11）」